

研究所活動日誌

- 1月5日 県民教研冬の集会(↓6日)
- 8日 事務局会議
- 11日 全国教研札幌集会(↓14日)
- 12日 編集委員会
- 19日 「千済住民を支援する県民の会」結成集会
- 22日 事務局会議
- 27日 千済小学校統廃合問題学習会
- 29日 千済訴訟第二回口頭弁論・事務局会議
- 31日 事務局会議
- 2月2日 千済問題調査現地報告会(↓3日)
- 5日 千済訴訟第一回審尋第二回常任理事会
- 9日 千済訴訟第一回審尋
- 12日 授業づくり研究会初会合
- 16日 中蒲原郡小須戸町立小須戸中学校PTA講演会
- 22日 千済訴訟第三回審尋事務局会議
- 3月1日 千済訴訟第四回審尋

2日 子育て懇談会

「地域と教育」を考える

座談会

3日 第一期教育セミナー(講師・川合章)

8日 千済訴訟第五回審尋

9日 編集委員会

15日 事務局会議

19日 千済訴訟第六回審尋

20日 千済問題現地集会

23日 千済問題現地集会

26日 事務局会議

29日 教育研究所地域懇談会(上越市)

30日 パンフレット編集委員会

編集後記

☆千済小学校統廃合問題については、

座談会の中で、今何が争そわれているのか、また、この問題の今日的意義は何かについて、一定の掘り下げをしたつもりです。

座談会当日、(座談会の)時間を大幅に縮小せざるをえない事態が発生してしまい、尻きれトンボになってしまった感があります。

読者のみなさんにお詫びいたし

ます。

この点については、木村論文と併せて読んでいただければ幸いです。

今、統廃合に反対する原告・父母は、千済地内に「自主学校」を設置して反対運動を展開しています。

☆小説「少年の口笛」はいかがだったでしょうか。

まじめで、かたくて、……と言われる「教育情報」ですが、今後はこうした内容も可能な限り追求していくつもりです。

☆私の長女は保育園の年長クラス(つばめ一組)になりました。

どういうわけか、その保育園の父母会の役員をひきうけてほしいと言われたのです。

「共働きの我が家では、日中しか父母会役員会がひらかれない状況では、役員会に出席するのが困難ですので……」

「いいんです。共働きの方にも入ってもらおうようにしているんです。運動会とか園庭の草とりの時、仕事を手伝ってもらえればいいんです」

なんとも割りきれない思いで、役員をひき受けたのです。役員というよりは、「力仕事」担当父母ということでしょうか。

今、多くの学校のPTAが形骸化

し、役員のなり手がなく、先生方の年度始めの頭の痛い問題だと言われています。

人間と人間の連帯と信頼を育てる学校づくりが強く叫ばれている今日、PTAづくりも学校づくりの重要な柱のひとつだと考えるのですが、どうでしょうか。

案外、教師の側がこの問題のとなえ方に弱さを持っているような気がしてなりません。

(さとう まさる)

お知らせ

☆今後、次の調査・研究活動にとりくむことを決定いたしました。

(1)北蒲原郡聖籠町の地域調査

聖籠町は東港開発に伴ない、地域が大変貌し、子育て、教育に深刻な影響を与えました。

(2)小中学校の課外体育調査

以前から、その問題点が指摘されていましたが、必ずしも実態が十分明らかになっていないわけではありません。アンケート等で御協力をお願いすることがあると思います。ぜひ、ご協力を。

(3)教員採用・人事問題調査